

平成30年度



2月



学校だより

防府市立右田中学校

TEL 22-0984

### 第2学年「立志式」を挙

全校生徒数386名

2月16日（土）、第2学年の立志式を実施しました。これは、数え年15歳で成人するという古来の元服式に習い、大人への自覚を深める行事です。

今年は、まずグループに分かれて、一人一人の生徒が各教室で自分の決意作文を発表しました。その後、体育館に集まって、本校出身の先輩から励ましのお話を聞いた後、各学級代表生徒5人が決意を発表しました。また、中学校入学からの成長の姿を追った映像をスライドショーで鑑賞し、式の最後に学年合唱「時を越えて」を披露しました。多くの保護者の皆様や学校運営協議会委員の皆さんにもご来場いただきました。



### 第1学年「ワークフォーラム」を開催

2月14日（木）、1年生対象のワークフォーラムを開催しました。1年生は、これまでに、キャリア教育の一環として自分が興味をもっている職業について、仕事調べをしてきました。今回、実際にその仕事に携わる人々から、就職の動機、仕事の喜びや苦労話などをお聞きすることができました。来校された講師は、次の12業種の方々です。

建築関係、小売業、ブライダル、ラジオ局、保育士、市役所職員、ペット・動物関係、調理師、美容師、自動車製造工場関係、プログラマー、看護師



### 道徳校内研修会の開催

2月22日（金）、講師に北海道札幌市立北野台中学校教諭で、文部科学省 審議会専門委員も務めておられる磯部一雄先生をお招きし、道徳の校内研修会を開催しました。午前中は、1年生と2年生を対象に、講師の先生による授業を2時間公開し、午後には教員を対象に講義・演習を行っていただきました。4月から道徳は教科化され、「特別な教科 道徳」となることから、県内外の小中学校から参加希望の先生方も約50名ご来校いただきました。教員が生徒役となって研修する模擬授業などを通して、生徒の心を動かし、生き方を考えるための授業づくりの工夫を学びました。心の教育の充実により、いじめの根絶はもとより、生徒のよりよい生き方の模索や人間関係づくり、社会参画につながることを期待しています。



### 音楽授業で日本伝統楽器「箏（そう・こと）」を演奏

1月28、29日、1年生が日本の伝統楽器である「箏」の演奏を学習しました。市内の箏演奏サークル「萌えぎ会」10名の方に指導をお願いし、一人一面の箏をお貸しいただき、初めて触る和楽器の響きを実際に体験することができました。

2日間の授業の最後には、全員で「さくら」を演奏することができました。これからも地域の教育力を生かした活動を進めていきたいと考えています。



## 平成30年度右田中学校学校評価

今年度の本校学校評価について、2月16日開催の学校運営協議会において学校関係者評価を受けましたので、概要をお知らせします。

### 【学習指導】評価【 B よい 】

- ・資料の提示や発問など専門性の生きた授業づくりが学習意欲を高めている。タブレットを積極的に活用される先生も多い。
- ・落ちこぼれ対策や家庭学習の習慣化について効果的な対策が必要である。ICT活用にごだわることなく、生徒一人一人の言葉で表現した発表も重要である。

### 【生徒指導】評価【 A たいへんよい 】

- ・運動会、文化祭等に、自主的に取り組み、企画力、協調性が発揮されている。
- ・行事の企画に生徒の意見を取り入れ学校行事の満足度にプラスに働いていること、生徒の教員への信頼度について高評価を得ていることは、大いに評価できる。

### 【心の教育】評価【 A たいへんよい 】

- ・いじめはどの学校にも必ずあることとして、問題を確認したら被害を受けた生徒の命を守ることを最優先に、学校全体の問題として取り組んでほしい。
- ・道徳の時間を大切にしたい心の教育や、夢を大切に将来を見据えたキャリア教育を推進していることは素晴らしい。

### 【校内研修】評価【 A たいへんよい 】

- ・オープン授業参観において、ICT活用を行いながら、工夫を凝らし、生徒の興味を引き出している。
- ・授業公開が充実し、授業改善が進んでいる。
- ・研修が目的にならないように望む。

### 【地域連携】評価【 B よい 】

- ・地域行事への参加や地域支援が、年々1～2件増加している。
- ・小中連携の事業を多く取り入れ、協働意識が強まっている。
- ・小学校とも連携し、右玉子ネットを無理なく、かつ有意義に機能させていけるとよい。

### 【次年度への具体的な改善策】

- ☆授業改善への取組を、確かな学力やより深い学びにつながるよう工夫する。成果については、生徒の変容を評価して確かめる。
- ☆生徒の学力向上に向けて、家庭学習や朝学、夕学、長期休業中の勉強会など、授業以外の学習への取組について工夫する。
- ☆各行事においては、一層生徒の主体性を大切にして企画し運営する。
- ☆地域貢献の取組を拡充することで、生徒の自己肯定感を醸成し、郷土を愛する心を育てる。
- ☆地域や保護者に向けて、小中連携や地域連携の取組の成果や重要性についての情報発信を充実させる。
- ☆学校運営協議会や右玉子ネットへの教職員の積極的参加を促すと共に、連携上の負担を軽減しながらも、効果の増大を図る。
- ☆業務改善に向け、行事の精選や業務負担の平準化を図る。

## 立志式校長式辞（抜粋）

今日は、バンジージャンプのお話をしましょう。遊園地のアトラクションで、足首などをゴムロープで縛り、高い塔や橋の上から飛び降りる、肝試しです。バンジージャンプの起源は、太平洋の小さな島、バヌアツで行われていた、大人になるための儀式と言われていました。まず、広場に、木で数十メートルにもなるやぐらを組み上げます。やぐらの下の地面を砂場のように耕し、小枝や柔らかい干し草を敷きます。そして、森から、命綱となるツタを取ってきて、自分の身長や体重に合わせて、地面ぎりぎりの長さに切ります。最後に、その命綱を足首にくくりつけて飛び降りる。まさに命がけです。少年は、その作業を、先輩に教えてもらいながらも、一人でやるのです。一つ一つの作業が、自分の命につながっているのです。知恵と体力と勇気が無ければ、決して、なしえないことです。そして、ジャンプに成功した瞬間、少年は一人の大人として認められるのです。大人になると言うことが、いかに真剣で大変なことか、バンジージャンプは教えてくれます。世界の各地には、こうした大人になるために、厳しい試練を課している民族がたくさんあります。こうした習わしを、通過儀礼と呼んでいます。人生の次のステージに進むために、どうしても通らなければならない関所、という意味です。今日の立志式は、皆さんにとって、大人に一歩近づくための通過儀礼です。命は、かけないにせよ、みんなの前で、人生の決意を語るという試練は、バンジージャンプと共通する厳しさがあります。今日が、皆さんにとってジャンプのチャンスになることを、心から祈っています。

※右田中学校のホームページにもアクセスしてください。

右田中学校

検索

<http://www.c-able.ne.jp/~hofumigi/>